

小学校、中学校等における新型コロナウイルス感染症に関する対応について（依頼）

—ゴールデンウィーク以降当面の感染防止対策の取組みについて—

オミクロンB A. 2系統への置き換わりが進み、新規感染者数が高止まりの状況にあります。こうした中、今後、最大限の警戒をしつつ、可能な限り日常生活を取り戻すため、引き続き、基本的な感染防止対策の徹底や、陽性者の早期発見などの感染防止対策に取り組んでいくことが大切です。

ゴールデンウィーク後、学校活動の更なる日常化を進めるためには、ゴールデンウィーク期間中の感染を抑止していくことが重要となります。このため、学校関係者一人ひとりが、改めてオミクロン株の感染力の高さを認識し、日々の基本的な感染防止対策の更なる徹底を図る必要があります。ゴールデンウィーク以降当面の感染防止対策の取組みについて、以下の通り適切に対応願います。

1 ゴールデンウィーク期間中の取組み

(1) ゴールデンウィーク期間中の生活に関する注意喚起

- 学校生活を離れるGW期間中の生活における注意点について、「別紙1-1 小学生のみなさんへ」又は「別紙1-2 中学生の皆さんへ」を児童生徒に配布し、感染防止対策の実施について周知徹底を図ること。また、保護者に対しても、「別紙2 県民の皆様等へのお願い」と合わせて周知を図ること。

(2) 部活動

- 感染防止対策を徹底したうえで、実施
 - ・感染が確認されている場合でも、学校での広がり懸念されないと学校医等が判断した場合、感染者及び濃厚接触者が所属する部活動以外は実施を可とする。
 - ・但し、クラスターが発生した場合、一旦部活動全部を停止し、保健所等の助言を踏まえ、校内での感染拡大の可能性を見極めるとともに、校内の感染防止体制や対策の検証・改善を図ったうえで、部活動を再開させることとする。

【活動時において徹底すべき事項】

- 「感染防止対策責任者^{*1}」を配置し、部活動を始める前に「別紙3 部活動感染防止対策チェックリスト（令和4年4月23日以降版）」により、感染防止対策の点検を徹底する。（特に花粉症の疑いや軽度の体調変化^{*2}であっても、医療機関受診等呼び掛け）
 - ※1 監督とは別に感染防止対策責任者を設置する。
 - ※2 風邪症状、腹痛や下痢、倦怠感の他、オミクロン株の特性を踏まえ、発熱はなくとも、咽頭痛（のどの痛み）、鼻汁などの症状がある場合。
- 可能な限りマスクを着用した活動とし、気温の上昇等により健康被害が懸念され、マスクを外す場合は、会話（声援含む）を控え、活動に支障がない範囲で身体的距離を確保するなどの対策を徹底する。
- 参加者を、自校の生徒、顧問、部活動指導員、学校が正式に委嘱した県内在住の外部指導者に限定し、OBや保護者等は参加させない。

- 部活動に係るクラスターの発生状況等を踏まえ、体育館など屋内の同一場所で複数の部活動が活動する場合には、特に以下の点に留意する。
 - ・ 活動場所での密集対策（応援等、直接プレーに関わらない生徒等の制限など）
 - ・ 常時換気（サーキュレーターの積極活用）、常時換気が難しい場合は 30 分に 1 回程度の換気の徹底
 - ・ 更衣室等の時間差利用
 - ・ マスクを外した状態での会話や声援の禁止
- 他校との交流は、当面の間県内の交流に限定することとする。

(3) その他

上記(2)部活動については、4月23日(土)からの適用とする。

2 ゴールデンウィーク後の主なる取組み

(1) 学校生活における基本的な感染防止対策の徹底

- 「別紙4 クラス内感染防止対策チェックリスト」を活用し、基本的な感染防止対策を徹底する。(特に花粉症の疑いや軽度の体調変化であっても、医療機関受診等呼び掛け)

(2) 部活動

- 当面の間、ゴールデンウィーク期間中の取組みを継続する。

※全国大会等（予選を含む）への出場について

- ・ 大会出場の際は、近県以外への移動も含め可とするが、移動先では感染防止対策を徹底し、大会出場終了後の練習試合等の交流は実施不可とする。(大会出場に向け、ケガ等の事故防止のため現地等で練習試合を行うことはその必要性を慎重に判断した上で可とする。)
- ・ 往来の前後に無料PCR検査や新型コロナ抗原検査キットを活用し、「うつさない」「うつらない」行動を徹底する。

(3) 修学旅行、宿泊を伴う学校行事及び校外学習

- 県外への移動を可とするが、感染が多い地域*を避ける等、目的地の感染状況の把握に努めながら実施。なお、適切な時期に、実施時期の延期や期間短縮、目的地の変更等を柔軟に検討する。

※政府の緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の対象区域、地方公共団体が県境をまたぐ往来の自粛を呼び掛けている地域

- ・ 実施期間中の健康観察を徹底する。
- ・ 県外との往来を行う場合は、健康観察に留意するとともに、必要に応じて、移動の前後に新型コロナ抗原検査キットや無料PCR検査の活用を促すなど、「うつさない」「うつらない」行動に努める。

(4) その他

実施期間は、ゴールデンウィーク後、当面の間とする。

しょうがくせい
小学生のみなさんへ

令和4年4月22日
山形県教育委員会

ゴールデンウィークの休み明けに、落ち着いた学校生活を送ることができるように、新型コロナウイルスなどに感染しないよう、次のことをよく守って過ごしましょう。

- 手洗い、消どく、マスク、かんきなど、自分やみんなを守る行動をしましょう。
- 食事をするときは会話をせず、お話したいときはマスクをしましょう。
- 熱っぽい、のどがいたい、鼻水が出るなど、具合が悪い時は、無理をせず、お家の人に伝えましょう。

<保護者の皆様へ>

本県では、感染力が高いと言われるオミクロン株B A. 2系統への置き換わりが進み、部活動等でクラスターが発生するなど、学校での感染拡大が懸念されています。

これから迎えるゴールデンウィークは、人が集まる機会や人流が増え、普段以上に感染リスクが高まります。

休み明けに、学習や部活動の各種大会、修学旅行など、学校生活の日常化を進めるためには、ゴールデンウィーク中の過ごし方がとても大切です。お子様と一緒に改めてオミクロン株の感染力の高さを認識し、感染防止対策を徹底するようお願いいたします。

- 毎日の検温などお子様の健康観察を改めて徹底してください。風邪症状などがある場合（花粉症による鼻汁との区別がつきにくい場合もあることから花粉症の疑いがある場合や発熱はなくとも、のどの痛み、鼻汁などの症状がある場合は特に）、外出を控え、医療機関を受診させてください。
- 県外へ移動する場合には、基本的な感染防止対策の徹底や、事前・事後に無料のPCR検査等検査を活用するなど、「うつさない」、「うつらない」行動を徹底させてください。

中学生の皆さんへ

令和 4 年 4 月 22 日

山形県教育委員会

本県では、感染力が高いと言われるオミクロン株 B A. 2 系統への置き換わりが進み、部活動等でクラスターが発生するなど、学校での感染拡大が懸念されています。

これから迎えるゴールデンウィークは、人が集まる機会や人流が増え、普段以上に感染リスクが高まります。

休み明けに、学習や部活動の各種大会、修学旅行など、学校生活の日常化を進めるためには、ゴールデンウィーク中の過ごし方がとても大切です。皆さん一人ひとり、改めてオミクロン株の感染力の高さを認識し、感染防止対策を徹底しましょう。

- 不織布マスクの正しい着用、こまめな手洗い、消毒を徹底しましょう。
- 密閉、密集、密接の全てを避けるゼロ密、「うつらない」「うつさない」行動を徹底しましょう。
- 食事は「黙食」で、会話をする際はマスクの着用を徹底しましょう。
- 毎日の検温など自身の健康観察を改めて徹底しましょう。

風邪症状等がある場合（花粉症による鼻汁との区別がつきにくい場合もあることから花粉症の疑いがある場合や発熱はなくとも、のどの痛み、鼻水などの症状がある場合は特に）、外出を控え、医療機関を受診するとともに、部活動への参加を見合わせましょう。

- 県外へ移動する場合には、基本的な感染防止対策の徹底や、事前・事後に無料のPCR検査等検査を活用するなど、「うつさない」、「うつらない」行動を徹底しましょう。